

「国際平和」もウソ、「日本を守る」もウソ。自衛隊が海外で戦闘に巻き込まれる

若者を戦場に送るな！



平和を守る共同が広がっています

自民党、公明党に抗議を

自民党本部 03-3581-6211

公明党本部 03-3353-0111

署名を集めよう



戦争法案をストップしましょう

日本共産党杉並区議会議員

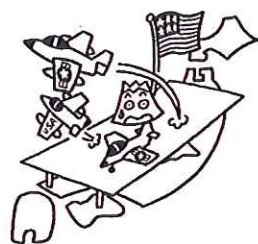
くすやま美紀

2015年6月号外 杉並区民新聞社 杉並区今川 2-12-21

日本共産党杉並地区委員会は上記の見解を発表しました。

戦闘でなく、外交で平和を

安部内閣、自公政権は、どうして紛争を戦争にしよ
うとするのでしょうか？外交で話し合いをつくせば、
人類の理性はかならず平和を実現できます。それが日
本国憲法と、国連憲章の精神です。安部首相は、70
年前の侵略戦争の時代に戻りたいのでしょうか？
なんとしても「戦争立法」をストップさせましょう。
思想信条の違いを超えて、「戦争立法ノー」の一点で
力を合わせましょう。



戦場で死に直面した若者は精神が傷つきます。アフガニスタ
ン、イラク両戦争に派兵され、帰国後に自殺した自衛隊員は今
年3月末で54人にのぼります。直接戦闘行動をしているアメ
リカでは、戦死者よりも帰国後の自殺者が上回っています。自
衛隊を戦闘地域に送れば、これまで以上の犠牲が出ることは明
らかです。「殺す」も「殺される」も許されないので。
安部首相が言う「国際平和のため」も「日本を守るため」も
国民をあざむくものです。

帰還自衛隊員54人自殺

国会の質問で、安倍内閣が狙う戦争法案の危険さが浮き彫りに
なってきました。自衛隊を海外の「戦闘地域」に派遣し、もし攻
撃を受けたら武器を使用するというわけです。これでは日本国憲
法が禁じている戦争への加担になります。
これまで一度も「殺し、殺される」ことのなかった自衛隊から
戦死者が出る危険が高まります。柳沢・元内閣官房長官補は「必
ず戦死者が出る」（朝日）と語っています。危険すぎます。

必ず戦死者が出る



自民・公明が
国会に提出

戦争立法許さない！



徹底的にくらし、平和
日本共産党 杉並区議会議員
上保まさたけ

安部首相は記者会見で「自衛隊発足以来1800人が殉職している」と、自衛隊員が戦死することを否定しません。「戦争しない国」から「戦争する国」への大転換を、憲法に違反したまま、国民の合意もないまま強行する汚いやり方で、クーデターと同じです。許せません。なんとしても「戦争立法」をストップさせましょう。思想信条の違いを超えて、「戦争立法ノー」の一点で力を合わせましょう。



平和を守る共同が広がっています



政府が隠す大問題

① 殺し、殺される戦闘地域へ

アメリカがイラク戦争のような戦争に乗り出した時、自衛隊が「戦闘地域」まで行って軍事支援をおこなうことです。そうすれば相手から自衛隊員が攻撃され、それに応戦すれば戦闘になり「殺し、殺される」ことになります。

② 戦乱地域で治安維持活動

形式上「停戦合意」があっても戦乱が続いているところへ自衛隊を派兵し治安維持活動をさせようとしています。国連の平和維持活動（PKO）とは関係のない、危険な活動です。

③ 米国の無法な戦争に参加

日本がどこからも攻撃されていないのに、アメリカが戦争すれば協力することで、先制攻撃をしてきたアメリカに追従すれば「侵略戦争」に加担することになります。

自民党、公明党は、日本が米軍のあらゆる戦争を支援する「戦争立法（11の法案）」を、5月14日に国会に提出しました。安倍内閣は「平和と安全」のためと言っていますが、ひどいまかです。「戦争立法」には大きく言っている3つの大問題があります。